

東日本大震災の実情調査!!

岩手 宮城 福島 へ視察団を派遣

岩手

復興支援に取り組む 市民グループと懇談



木内良明、藤井一、伊藤興一、栗林のり子の各都議は岩手県を訪問。6日には都の被災地支援岩手事務所で意見交換を行いました。

また、被災地以外の地域の経済活性化による復興支援を目的とした市民グループ「HAND TO HAND」の中村栄代表と懇談。同代表の、「長期的な復興支援には地域の活性化が欠かせない」との話に対して、木内都議も「公明党としても、強力なネットワーク力を生かし、復興支援に取り組んでいく」と決意表明。

翌7日には、大船渡、陸前高田の被災地に足を運び、住民の方々の要望などに耳を傾けました。

宮城県を視察した中嶋義雄、長橋桂一、橘正剛都議らは、都の被災地支援事務所所長らと意見交換。同所長より、「市や町への支援は現地に詳しい県職員が担い、それで手薄になった県側のサポートなどに都の職員があたるといいのでは・・・」との意見に対し、中嶋都議は、「都に常駐職員の増員を働きかけていく」と述べました。

また、仙台市宮城野区の仙台港周辺の被災状況を視察。翌7日には気仙沼市で行われた「震災何でも相談会」に出席し、多くの住民の方々の相談に応じながら、都として、さらなる支援の強化を約しました。

「震災何でも相談会」に 出席し、住民を激励

宮城



福島

風評被害解消へ 関係者の要望受ける



津波と原発事故に苦しむ福島県へは、東村邦浩、高倉良生、松葉多美子、小林健二の各都議が訪問。7日にはJA福島中央会、県商工会連合会関係者と懇談、「県内の観光地で宿泊客のキャンセルが相次ぎ、景気に多大な影響がでている。福島で使用できるプレミアム商品券を都内で発行してはどうか」などの提案を受けました。東村都議は「東京は電力供給など福島県から多大な恩恵を受けてきた」として、「全力で支援する」と述べました。

翌8日には、相馬市の被災地を視察するとともに、相馬市長や漁業関係者と意見交換。また避難所の一つである郡山市の「ビックパレットふくしま」を訪ね、避難住民と懇談を行いました。